

高橋晴美の世界・・・愛と癒しの歌

－ 出演者プロフィール －



高橋晴美(作詞・作曲・ピアニスト)

3歳から音感教育を受け、8歳より作曲を始め、国立音楽大学作曲科卒業後、ジャズ理論を学ぶ。1989年旧ソ連で行われた即興演奏コンクールでピアノソロ部門第1位を受賞。'95年のパリをかわきりに自身のオリジナルコンサートを開始し、2001年にはグアテマラ、エルサルバドルにおいて、2002年には英国各地において、2003年には中米各国で大使館主催のコンサート活動を行っている。2004年5月には、東京芸術劇場大ホールに於いて全曲自身の作品で、オーケストラと歌による「愛のコンサート」を行い絶賛された。作品はあらゆるジャンルを内包し、器楽曲から歌曲、合唱曲、オーケストラ曲と幅広い。作品の中に貫して流れている“愛”は高橋晴美の世界の大きな特徴である。音楽之友社から作品の合唱版が教科書、中高生用教材に多数採用されている。現在、作詞・作曲家・ピアニストとして高い評価を得ており、9枚のCDがリリースされている。2006年2007年4月にはピアノソロのCD「愛のピアノ」が全日空のANAスカイチャンネルに採用された。

日本著作権協会正会員

<http://www.harumi-net.jp>

遠藤いつ子 (Vocal)

静岡県出身。昭和音楽大学声楽科卒業、同大学音楽専攻科修了。財団法人日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第20期研究生修了。声楽を古賀恵美子、佐藤美香に師事。中学校小学校の講師をする傍ら、2005年には広島、2006年には富士、2008年には京都、名古屋、新潟、山形、2009年には沖縄で行われた、「高橋晴美の世界」のコンサートに出演。多くの人に高橋晴美の世界を伝えたいという思いが膨らみ、'08年3月21日には、三島で初のリサイタル『遠藤いつ子 高橋晴美の世界を歌う』を開催した。地元を中心に演奏活動を行っている。

<http://www.endo-5.jp>

八木秀樹 (Drums)

猪俣 猛氏に師事。1977年、「林 忠男ジャズハーブトリオ」でプロ入り。「見砂直照とヌエボラティーンズ」「タイムファイブ」を経て、1981年、「高橋達也と東京ユニオンオーケストラ」に入団。その後、高橋真梨子、伊東ゆかり、小林 洋とシャイニー・ストッキングス等で演奏。1995年2月、1996年4月と「高橋晴美トリオ」の一員として、パリ在仏日本大使館広報文化センターでコンサートを行い好評を博す。現在フリーでオールラウンドプレイヤーとし活躍中。長年のキャリアに基づく正確な技術と色彩感豊かな音色を持つ、アンサンブルを大切にするドラマー。ジルジャンシンバルエンドーサー。

和田弘志 (Bass)

1952年 神戸 生まれ。森 寿男とブルーコーツに参加。宮間 利之とニューハードに参加。インド ジャズヤトラに出演。ニューデリー、ボンベイ、カルカッタ各地で演奏。フランス JVC ニースジャズフェスティバルに出演。ニース、ハンガリー、旧ユーゴスラビア各地で演奏。ニューハードオーケストラ退団後フリーランサーとなり、中尾ミエ、森山良子、伊東ゆかり、さとう幸宗のコンサートツアーに参加。なかでも森山良子コンサートツアーは15年間続いた。現在はジャズ、シャンソン等ジャンルにとらわれず、コンサート、レコーディング、ライブ等、幅広く活動中。

小口佳子 (Violin)

横浜市出身、4歳からヴァイオリンを始め、10歳より桐朋学園子供のための音楽教室に入室。桐朋学園高等学校音楽科を経て、同大学卒業。ヴァイオリンを恵藤久美子、久保田良作、室内楽を安田謙一郎、久保陽子、青木十良の各氏に師事。1996～1998年 富士山麓国際音楽祭に参加。1992、1996、2001年木曾音楽祭に参加。現在、数々のオーケストラのエキストラとして、又、宮内庁楽部洋楽演奏委託者として演奏活動をしている。長年に渡り後進の指導にも意欲的に務める傍ら、ボランティア演奏活動も精力的に行っている。アンサンブルフォルテメンバー。

